

納入事例

株式会社毎日放送 様

高い信頼性と充実した機能を備えたコンソールを音声中継車に採用。
大規模の中継にも対応できる充実のスペックをコンパクトに実現。



世界初！音声中継車に納入された CALREC “APOLLO”



←毎日放送様の音声中継車
「MBS Audio OB-Van」

L : 9640mm H : 3500mm
W : 2490mm

↓後ろの扉

毎日放送様のロゴ「MBS」と一緒に工事を担当したヒビノのロゴと CALREC のロゴも載せていただきました。



■ 地域密着型の番組作り

株式会社毎日放送様は、大阪を中心に関西エリアで放送を行う放送局で、2010年に開局60周年を迎えます。関西という地域に密着した番組作りをしており、上方漫才やバラエティなど独自性の高い番組作りにも定評があります。また、阪神タイガース戦などの野球、ゴルフ、テニス、サッカーなど各種スポーツやコンサートを中継車を使用して常時行っています。

■ 高い信頼性で大規模の中継にも適した機能を搭載

年間の稼動頻度は約100日、その8割が生中継を扱う音声中継車「MBS Audio OB-Van」に CALREC のデジタルミキシングコンソールの最上位機種 “APOLLO” が導入されました。音声中継車に導入された “APOLLO” の第一号で、世界初！

導入の理由として、以下のコメントをいただいています。「以前に ALPHA を導入しており、その信頼性の高さから CALREC に関心を寄せていました。しかし大規模の中継の際に私たちが使用する機能が足らず、あきらめかけていた時に APOLLO の話を聞きました。高い信頼性はそのままで I/O の拡張、レイヤーの増加、メモリー機能の充実、サラウンド機能、ダウンミックス機能など、私たちが望むもの全てに対応していました。また新しいタッチパネルを多用したユーザーインターフェースも操作しやすく、視認性も良く、ストレスなく使えるため、導入を決めました。加えて十分なヘッドルームや高音質も選択基準に見合ったものでした。」また、特に気に入っている機能として、タッチスクリーンを利用したインターフェースや SPILL 機能、ダウンミックス機能といったサラウンド制作に関する機能を挙げていただきました。

多機能をコンパクトに収め、音声中継車という限られた空間でも56フェーダーを確保。コンソールの左側に PC モニターとキーボードを配置するカスタマイズを行い、操作性を向上させています。

●お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.
ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5783-3110
TEL : 03-5783-3880

HIBINO

hibino Group

▼株式会社毎日放送

〒530-8304
大阪府大阪市北区茶屋町17番1号
<http://www.mbs.jp/>

【運用開始】

2010年3月

【主要な納入機材】

機材	デジタルミキシングコンソール
ブランド名	CALREC
製品名	APOLLO